

社会福祉法人北海道友愛福祉会 沿革史

昭和45年（1970年）

- 8月 社会福祉法人北海道宏栄社（小樽市天神2丁目8番2号理事長川真田義雄）が、老人福祉法による養護（盲）老人ホーム設置経営のため建物新築工事に着手。

昭和46年（1971年）

- 2月 老人福祉法による養護（盲）老人ホームとして認可を受け江別盲人養護老人ホーム恵明園（定員50名）が事業開始。
- 11月 恵明園の利用定員が100名となる。

昭和47年（1972年）

- 2月 恵明園が社会福祉法人北海道宏栄社から財産の寄附を受けて法人分離されることとなり、その設置経営主体となる社会福祉法人北海道友愛福祉会設立発起人会が、法人設立認可手続に入る。

昭和48年（1973年）

- 2月 社会福祉法人北海道友愛福祉会の設立が認可され、理事長に野村昭松氏、常務理事に水田武夫氏（恵明園園長）が各々就任。
- 12月 老人福祉法による特別養護老人ホームとして認可を受け、特別養護老人ホーム静苑ホーム（定員50名）が事業開始。

昭和49年（1974年）

- 2月 静苑ホーム医務室が診療所として認可を受け、北海道友愛福祉会附属診療所が事業開始。
- 10月 静苑ホームの利用定員が100名となる。

昭和50年（1975年）

- 6月 恵明園観世音菩薩建立。
- 8月 6号台風水害により恵明園、静苑ホームが大被害を受け、その災害復旧に日本自転車振興会災害復旧補助金を受けて災害復旧工事に着手。9月災害復旧工事完了。

昭和51年（1976年）

- 4月 恵明園の利用定員が110名となる。
- 4月 児童福祉法による保育所として愛保育園（定員105名）が事業開始。
- 10月 機関誌“友愛”創刊。
- 12月 静苑ホームの利用定員が115名となる。

昭和53年（1978年）

- 12月 協力医療機関として友愛病院（19床）を新設するとともにその経営主体を医療法人友愛会設立準備会に移管。

昭和54年（1979年）

- 10月 恵明園・静苑ホーム共同墓苑「友愛の廟」が江別市対雁に完成。

昭和55年（1980年）

- 4月 静苑ホームの利用定員が150名となる。短期収容保護事業開始。
- 6月 在宅寝たきり老人入浴サービス事業、電話による福祉相談事業等福祉サービス事業開始。
- 8月 恵明園創立10周年事業として、記録映画“盲老人とともに”並びに恵明園・静苑ホーム園歌“友愛音頭”及びミニ児童公園“孫との広場”が完成。
- 10月 常陸宮、同妃両殿下のご臨席を仰ぎ恵明園創立10周年記念式典挙行。

昭和56年（1981年）

- 8月 集中豪雨による水害で恵明園、静苑ホームが被災。その災害復旧に日本自転車振興会、北海道、江別市より補助金を受けて災害復旧工事に着手。10月工事完了。

昭和57年（1982年）

- 9月 市内独居老人に対する給食サービス事業開始。
札幌医大口腔外科の協力を得て附属診療所に歯科を新設。

昭和58年（1983年）

- 2月 市内独居老人に対する電話サービス事業開始。
- 3月 恵明園・静苑ホームがNHK社会文化活動奨励賞を受賞。

昭和60年（1985年）

- 9月 恵明園創立15周年記念事業として、社会福祉法人北海道友愛福祉会のシンボルマークを制定。

平成元年（1989年）

- 9月 恵明園・静苑ホームで市内独居老人に対する友愛訪問事業を開始。

平成2年（1990年）

- 3月 老人保健施設の設置経営に伴い、法人に評議員会を設置。
- 4月 老人保健法による老人保健施設として友愛ナーシングホーム（入所定員100名、通所定員20名）の事業開始。
- 6月 恵明園・静苑ホーム地域交流広場としてゲートボール場、散歩道、駐車場が完成。

平成3年(1991年)

- 2月 社会福祉法人北海道友愛福祉会、常務理事に中田 清氏（恵明園・静苑ホーム施設長）が就任。
- 4月 恵明園で虚弱老人を対象の短期保護事業開始。

平成5年(1993年)

- 10月 創立20周年記念式典を挙行。（記念誌「20年のあゆみ」、ビデオ“光と愛をこえて”）
- 10月 静苑ホームで緊急通報システム相談センターを開設。
- 10月 友愛ナーシングホームで配食型給食サービス事業を開始。

平成8年(1996年)

- 4月 老人福祉法による軽費老人ホームとして、ケアハウスゆうあい（利用定員50名）の事業開始。
- 6月 ケアハウスゆうあい付設プール及びふれあい広場の地域住民への開放事業開始。
- 11月 養護（盲）老人ホーム恵明園改築並びにデイサービスセンター友愛江別及び在宅介護支援センター友愛江別新築整備。

平成9年(1997年)

- 4月 社会福祉法人北海道友愛福祉会常務理事、中田 清氏（恵明園・静苑ホーム施設長）が全国老人福祉施設協議会副会長に就任。

平成11年(1999年)

- 4月 社会福祉法人北海道友愛福祉会常務理事、中田 清氏（恵明園・静苑ホーム施設長）が北海道老人福祉施設協議会会長に就任。
- 12月 特別養護老人ホーム静苑ホーム改築並びにデイサービスセンター・在宅介護支援センター・ヘルパーステーション友愛野幌新築整備事業が完了。

平成12年(2000年)

- 4月 介護保険制度への移行に伴い、対象施設・事業所が指定を受け事業開始。
- 4月 デイサービスセンター友愛野幌（通所介護）、居宅介護支援事業所友愛野幌（居宅介護支援）、ヘルパーステーション友愛野幌（訪問介護）が事業開始。
- 12月 社会福祉法人北海道友愛福祉会が優良民間社会福祉施設として天皇陛下よりご下賜金を賜る。

平成13年(2001年)

- 5月 天皇陛下ご下賜金拝受記念庭園を静苑ホーム前庭に整備。

平成14年(2002年)

- 4月 多度志生活支援ハウスしらゆりの里(利用定員9名)、多度志デイサービスセンターしらゆりの里(利用定員14名)、多度志居宅介護支援事業所しらゆりの里及び多度志老人等給食サービス事業所しらゆりの里が事業開始。
- 4月 法人・施設職員によるボランティア組織「フレンド・アイ」を結成。
- 4月 施設・事業所職員の研修体制を確立するため、法人内に北海道友愛福祉会職員研修機構を設立。

平成15年(2003年)

- 10月 法人創立30周年記念行事「市民と共に歩んだ30年!感謝の集い」を開催。
約1,000名の一般市民とともに30年の歩みを祝った。

平成17年(2005年)

- 3月 インターネットホームページを開設。
- 5月 社会福祉法人北海道友愛福祉会理事長、野村昭松氏が死亡退任。後任に5月25日開催の理事会において選任された野村義次氏が就任。

平成18年(2006年)

- 8月 社会福祉法人北海道友愛福祉会、常務理事中田 清氏が厚生労働省社会保障審議会介護給付費分科会委員に就任。
- 10月 恵明園に外部サービス利用型指定特定施設入居者生活介護事業所の認可を受け、一部介護保険事業を開始。

平成19年(2007年)

- 3月 愛保育園の築舎改築整備が完了。
- 4月 江別市の委託を受け、野幌第一地域包括支援センターを設置、事業開始。

平成20年(2008年)

- 1月 社会福祉法人北海道友愛福祉会常務理事、中田清氏が福田首相主宰の「社会保障国民会議委員」に就任。
- 4月 深川市の多度志生活支援ハウスしらゆりの里を社会福祉法人揺籃会へ施設委譲。

平成21年(2009年)

- 3月 社会福祉法人北海道友愛福祉会常務理事、中田清氏が政府(麻生首相主催)の経済危機克服のための「有識者会合」に出席。
- 4月 社会福祉法人北海道友愛福祉会第169回理事会に於いて、選任された中田清氏が理事長に就任。また、笠羽範夫氏が常務理事に就任した。
- 5月 社会福祉法人北海道友愛福祉会理事長中田清氏が、公益社団法人全国老人福祉施設協議会会長に就任。
- 8月 社会福祉法人北海道友愛福祉会職員OB会を設立、会長に大塚満直氏を選出。

平成22年(2010年)

- 2月 職員症例研究の発表の場として“友愛学会”を設立。
- 8月 愛保育園が常陸宮妃殿下のご視察先としてご訪問をいただき、入園児による歌・遊戯を披露。

平成23年(2011年)

- 5月 東日本大震災で被災した施設に恵明園・静苑ホーム介護職員を派遣。積極的な支援活動を行う。
- 10月 静苑ホームに庭園を整備。中田理事長の書による和顔愛語の碑を建立
- 11月 社会福祉法人北海道友愛福祉会第1回市民文化講座（講師 金子みすゞ記念館長 矢崎節夫氏）を開催。

平成24年(2012年)

- 11月 社会福祉法人北海道友愛福祉会第2回市民文化講座（講師 詩人・児童文学作家藤川 幸之助氏）を開催。

平成25年(2013年)

- 5月 社会福祉法人北海道友愛福祉会理事長中田清氏が、公益社団法人全国老人福祉施設協議会顧問、業務執行理事に就任
- 9月 社会福祉法人創立40周年記念事業として、市民感謝記念講演会(講師、脚本家 倉本 聰氏)を開催
- 10月 法人創立40周年記念誌 “Yuai. 40th, anniversary” を発行

平成26年(2014年)

- 3月 グループホームゆうあい（利用定員18名）が、介護保険事業者として認可を受け事業開始
- 4月 社会福祉法人北海道友愛福祉会介護奨学金制度を制定。
- 10月 社会福祉法人北海道友愛福祉会第4回市民文化講座（講師 芦花ホーム医師 石飛幸三氏）を開催。

平成27年(2015年)

- 4月 静苑ホーム拠点で、地域公益活動を実施する地域助け合いサポートセンターを開設し、市民向けの認知症カフェや体操教室、子育てサポートなどを実施。
- 6月 社会福祉法人北海道友愛福祉会介理事長中田清が、瑞宝単光章を受章。
- 12月 社会福祉法人北海道友愛福祉会第5回市民文化講座（愛知県淑徳大学講師 鳥居 一頼氏）を開催。

平成28年(2016年)

- 3月 国費補助金を受け、静苑ホーム多床室（15室60床）の準個室化改修工事が完了
- 4月 陸運局からの開設許可を受け、静苑ホーム拠点にて福祉移送サービス友愛野幌を開業
- 12月 社会福祉法人北海道友愛福祉会第6回市民文化講座（朗読劇 チーム一番星）を開催。

平成29年(2017年)

- 3月 国費補助金を受け、静苑ホーム多床室（15室30床）の準個室化改修工事が完了。
- 12月 社会福祉法人北海道友愛福祉会第7回市民文化講座（ドキュメンタリー映画「奇跡の子どもたち」記念上映）を開催。

平成30年(2018年)

- 11月 社会福祉法人北海道友愛福祉会第8回市民文化講座（映画「ああ栄冠は君に輝く」記念上映）を開催。

令和1年(2019年)

- 11月 社会福祉法人北海道友愛福祉会第9回市民文化講座（講師 ジャーナリスト 細川珠生氏）を開催。

令和2年(2020年)

- 3月 法人理事長 中田 清 が自身の半生と北海道友愛福祉会の創成期から現在に至るまでを綴った書籍「邂逅」を刊行
- 5月 法人理事長 中田 清 の呼びかけにより、市内7法人13施設の参加で江別市介護保険施設感染症対応ネットワークを設立。静苑ホームが事務局となり、市内で発生するクラスターへ応援派遣職員の調整を行う。
- 5月 野幌第一地域包括支援センター拠点に、福祉用具貸与事業所ゆうあいを事業開始
- 5月 静苑ホーム拠点で、地域における住宅確保要配慮者への支援を行う居住支援法人の指定を受け事業を開始
- 9月 コロナ禍に負けない笑顔と優しい言葉に満ち溢れる職場を願って、静苑ホーム中庭に「和顔愛語地蔵」建立
- 10月 法人理事長 中田 清 が法人50周年記念事業として、新型コロナウイルス感染症における静苑ホームの対応を綴った書籍「検証」を刊行

令和3年(2021年)

- 11月 法人創立50周年記念として、感謝・誓碑を3拠点（法人本部、恵明園、愛保育園）に設置
- 12月 友愛ナーシングホーム拠点に訪問リハビリテーションの事業開始

令和4年(2022年)

- 2月 法人創立50周年記念として、法人理事長 中田 清 が書籍「希求」を刊行。
- 4月 理事長 中田 清の勇退を受け、第231回理事会に於いて選任された 市川 茂春 氏が新たに法人理事長へ就任。
- 4月 長きにわたる法人及び福祉業界への多大な功績を称え、中田 清 前理事長が法人で初めて創設された名誉理事長へ就任
- 11月 中田 清 前理事長が江別市より市政功績者表彰を受賞

令和5年(2023年)

- 10月 静苑ホーム拠点（ヘルパーステーション友愛野幌）にて障害サービス「居宅介護」事業開始

令和6年(2024年)

- 3月 ホームページをリニューアル公開
- 6月 静苑ホーム拠点（ヘルパーステーション友愛野幌）にて障害サービス「重度訪問介護」事業開始
- 9月 静苑ホーム拠点（地域たすけあいサポートセンター）にて江別市重度身体障がい児（者）施設入浴事業開始
- 9月 中田 清 名誉理事長が全国老人福祉施設協議会より長年の功績を称え感謝状を授与
中田 清 名誉理事長が北海道老人福祉施設協議会より長年の功績を称え名誉会長へ就任
- 10月 静苑ホーム拠点（ヘルパーステーション友愛野幌）にて江別市子育て世帯訪問支援の事業開始
- 12月 静苑ホーム拠点（入所）が第11回 GOOD ACTION AWARDにて優秀賞を受賞

令和7年(2025年)

- 3月 静苑ホーム拠点（入所）第3回全国老人福祉施設大会・研究会議～JS フェスティバル in 滋賀～にて最優秀賞を受賞
- 7月 恵明園拠点（地域たすけあいサポートセンター友愛江別）にて江別市重度身体障がい児（者）施設入浴事業開始
恵明園拠点（地域たすけあいサポートセンター友愛江別）にて江別市生活困窮者居住支援事業の事業開始
- 8月 静苑ホーム拠点（居宅介護支援事業省友愛野幌）が令和7年度介護職員の働きやすい職場環境づくり内閣総理大臣表彰及び厚生労働大臣表彰奨励賞を受賞
- 12月 静苑ホーム拠点（入所）第4回全国老人福祉施設大会・研究会議～JS フェスティバル in 山口～にて奨励賞を受賞

令和8年(2026年)

- 1月 野幌第一地域包括支援センター拠点事務所をイオンタウン江別へ移転